

「異種格闘技の時代、新聞は何を提供できるのか？」

第12回 日本新聞協会との新聞広告共催セミナー 開催のご案内

本セミナーは、アドバイザー、新聞社、広告会社が一堂に会し、新聞メディアや新聞広告の効果的な活用事例を共有していただく場となります。

今回は「異種格闘技の時代、新聞は何を提供できるのか？」をテーマに、パネルディスカッションと事例紹介で構成します。この機会にぜひご参加いただき、新聞広告活用の新たな気づきをはじめとして、コミュニケーション企画のヒントを掴んでいただければ幸いです。

#

記

- 日 時 **2019年11月12日(火) 13:30~16:00** (開場 13:00)
- 会 場 TKP 新橋カンファレンスセンター
(千代田区内幸町1-3-1 幸ビルディング 15階 ※別添地図をご参照ください)
- 受講料 **JAA会員社は無料です。** (新聞社@5,000円/広告会社@4,000円となります)
申込締切 10月28日(月)
- プログラム
 1. **主催者挨拶 13:30~13:40**
日本アドバイザーズ協会 新聞委員会 片上 崇委員長
(味の素 広告部長兼オリンピック・パラリンピック推進室長)
日本新聞協会 広告委員会 牧埜 敦司委員長 (毎日新聞東京本社 営業総本部副本部長)
 2. **パネルディスカッション 13:40~14:40**
「統合コミュニケーション時代の新聞の強み、そして課題とは？」
あらゆるメディアと手法を組み合わせた企業コミュニケーションが標準化する今、新聞を活用する意味とは？次世代の統合コミュニケーションを担うクリエイターと話題のキャンペーンを展開する広告主が新聞に期待する役割、そして課題について議論します。

コーディネーター 嶋 浩一郎様 (博報堂ケトル 代表取締役社長)
パネリスト 尾上 永晃様 (電通 CDCプランナー)
河西 智彦様 (博報堂 統合プランニング局 クリエイティブディレクター)
山崎 晋吾様 (パナソニック 宣伝部企業宣伝室室長)
 3. **事例紹介「新聞社による課題解決の技、見せます」 15:00~16:00**
進行役 嶋 浩一郎様 (博報堂ケトル 代表取締役社長)
①東奥日報社 東奥日報創刊130周年記念・目指せ！健康・長寿「短命県返上」
②河北新報社 定年GO！定年後も活躍できる社会を目指す活動
③読売新聞社 「会長島耕作」企画 キャラクターを使用した複合的メディア展開

参加お申込みは、< <http://www.jaa.or.jp/?p=6839> > よりお願いします。

TKP 新橋カンファレンスセンター 15 階<地図>



■所在地

東京都千代田区内幸町 1-3-1 幸ビルディング 15 階

■アクセス

- JR 線「新橋駅」日比谷口 徒歩 7 分
- 東京メトロ銀座線、都営浅草線「新橋駅」8 番出口 徒歩 7 分
- 都営三田線「内幸町駅」徒歩 1 分